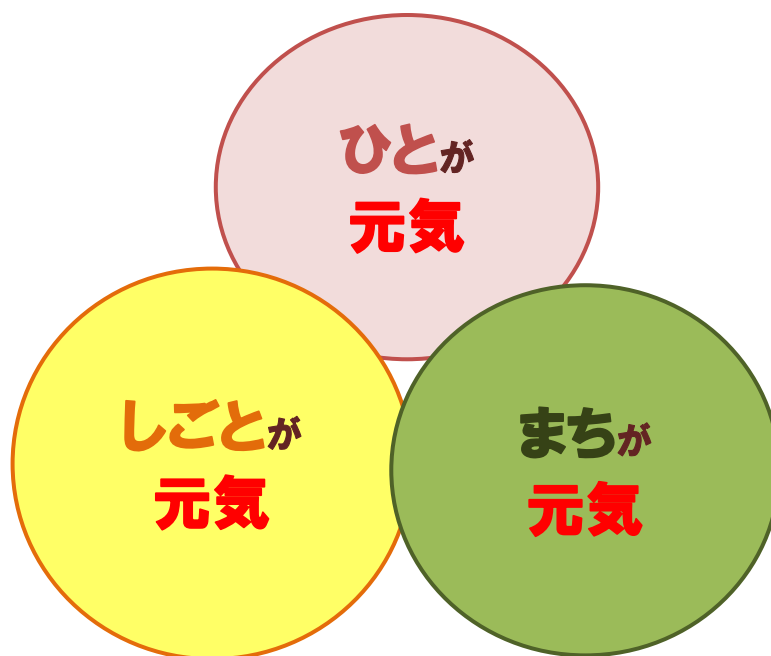


(令和3年度)

小千谷市総合戦略(改訂版)

進行管理シート



目 次

基本目標		基本方針		施 策		シートNo.
1	しごとをつくり、安心して働けるようにする（しごとづくり）	i	人材育成、技術能力向上支援	1	キャリア教育の推進	01
				2	技術承継・人材育成	02
		ii	農業と錦鯉産業の成長産業化	1	6次産業化、新規就農支援	03
				2	農産物等の付加価値産品開発、販路拡大	04
				3	スマート農業普及推進	05
		iii	地場産業拡充、企業立地、創業支援の推進	1	新技術・新製品開発	06
				2	企業立地促進	07
				3	新規創業・第二創業	08
				4	国内・海外販路拡大	09
		iv	高齢者・障がい者の活躍できる機会の拡充	1	技術力確保と生きがい雇用促進	10
				2	障がい者の就労促進	11
2	新しいひとの流れをつくる（ひとの流れ）	i	若年層の交流・転入促進	1	U・Iターンの推進	12
				2	若い世代の定住促進	13
				3	若者交流の推進	14
		ii	移住・定住支援	1	小千谷の暮らし情報発信	15
				2	交流・お試し移住推進	16
				3	移住・定住支援	17
		iii	地域資源（特産品、史跡、風景、文化）の活用及び連携	1	小千谷ブランドの形成	18
				2	観光拠点づくりと外国人の観光誘客	19
				3	交流・協働ネットワークの形成	20
		iv	関係人口の創出・拡大による地域情報発信と交流促進	1	関係人口の創出・拡大	21
				2	本市出身者や交流自治体等在住者との交流促進	22
		3	結婚・出産・子育ての希望をかなえる（結婚・出産・子育て）	i	未婚化・晩婚化対策	1
ii	安心できる出産・子育て環境の充実			1	妊娠・出産期の健康支援	24
				2	保育環境の充実	25
				3	子どもの遊び場の整備	26
iii	教育環境の充実			1	学びの環境づくり	27
4	時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域が連携する（まちづくり）	i	にぎわいのまちの顔づくり	1	都市計画の推進	28
				2	中心市街地の整備推進	29
				3	交流・協働ネットワークの形成（再掲）	20
		ii	ひとにやさしい交通網の整備	1	地域公共交通体系の整備	30
		iii	安心の雪国生活支援	1	優良宅地供給の推進	31
				2	冬期間交通の確保	32
				3	高齢化に適応した屋根雪処理等の推進	33

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

(1) 基本的事項

シートNo.	01
戦略ページ	P. 33

区分	No.	名称
基本目標	1	しごとをつくり、安心して働けるようにする (しごとづくり)
基本方針	1	人材育成、技術能力向上支援
施策項目	1	キャリア教育の推進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	児童・生徒が小千谷の産業を知り、触れ、体感する機会を提供し、若者の地元就職体制を確保するとともに雇用環境の向上を図る。
事業概要	<p>■市内中学生の職場体験教育 (学校教育課) 市内中学生が小千谷の産業を知るための職場体験を実施する。</p> <p>■インターンシップの実施拡充 (商工振興課) 大学生、専門学校生、高校生等のインターンシップ活動の拡充を図る。</p> <p>■地元就職サポート事業【地方創生交付金】 (企画政策課) 市内中学生を対象に、産業界や高等学校と連携し、ふるさと小千谷を支える地域産業や企業を理解する機会として「おぢやしごと未来塾」を開催し、将来の地元就職につなげる。</p>

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
職場体験実施日数 (中学生) / 生徒1人	3日	0日	3日	-			3日以上	学教
インターンシップ実施支援件数/年	48件	17件	31件	-			50件	商工
市内高校卒業生のうち市内事業所への就職率	40.4%	42.4%	46.5%	-			44.0%	商工
小千谷未来パスポート普及率【地方創生交付金】	-	17.8%	34.1%	-			-	商工

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析 (実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

【学校教育課】 コロナ禍であったが、各企業の理解を得て職場体験を実施できた。実施日数の短縮も考えられたが、目標としている3日が実施でき、仕事内容の理解、仕事に臨む姿勢、社会人として必要な資質等を肌で感じる事ができた。	【学校教育課】 今年度も3日の職場体験の実施を目指す。3日間勤め上げることで、深く学ぶことができる。企業等に理解いただけるように丁寧に説明していく。
【商工振興課】 市内の県立高校における就職希望者の就職率については100%を維持し、市内事業所への就職割合は増加傾向にある。しかしインターンシップの支援件数については、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、受入可能企業が大幅に減少したため、例年50件程度から大幅に減少した。 市内高等学校卒業生における地元企業就職率 (H28: 31%、H29: 40%、H30: 35%、R1: 32%、R2: 42%、R3: 46.5%) インターンシップ支援実績 (H28: 46件、H29: 55件、H30: 48件、R1: 57件、R2: 17件、R3: 31件)	【商工振興課】 児童・学生に対し市内企業を広く知ってもらうため、企業ガイドブックや就労支援アプリを活用し、キャリア教育の推進を図る。 また、企業見学・インターンシップの仲介を進めることで、若者の地元就労へ繋げる。
【企画政策課】 おぢやしごと未来塾の実施後アンケートによると、中学生の91%、出展企業の100%から良い評価を得るなど、参加者から高い評価を受けている。なお、新型コロナウイルス感染症の状況から一般観覧は中止した。	【企画政策課】 アンケートの結果を反映し、満足度の向上を図りながら、引き続き将来の地元就職に結び付くように事業を推進する。一般観覧については、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら検討する。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

(1) 基本的事項

シートNo.	03
戦略ページ	P. 34

区分	No.	名称
基本目標	1	しごとをつくり、安心して働けるようにする（しごとづくり）
基本方針	2	農業と錦鯉産業の成長産業化
施策項目	1	6次産業化、新規就農支援

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	産業として成り立つ農業を展開するため、新規就農者の確保及び経営体の育成に加え、組織化・法人化を推進するとともに、6次産業化等の農業経営の多角化・複合化を推進する。
事業概要	<p>■ 6次産業化支援事業 6次産業化を検討する事業者に対して助言等の支援を行う。</p> <p>■ 地域資源を活かした商品づくり支援 地域資源を活用した新たな商品作り等の取組を支援する。</p> <p>■ 新規就農者支援事業 新規就農者に対して支援する。</p>

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
6次産業化に取り組む農業者数(累計)	2経営体	4経営体	4経営体	-			6経営体	農林
多様な産業と連携して商品づくりに取り組む農業法人数	-	4経営体	4経営体	-			2経営体	農林
新規就農者数(累計)	15人	31人	36人	3,000			45人	農林
農業法人化数(累計)	13経営体	14経営体	15経営体	-			20経営体	農林

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析(実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

<p>【農林課】</p> <p>農業者の農産物加工及び販売への本格参入(6次産業化)は、ハードルが高く事業化が難しい。(採算性が見込めない場合が多い。)</p> <p>新規就農相談に対しては、関係機関及び関係団体と連携して支援を実施しており、積極的に就農相談を受付けている。なお、国の要件を満たす新規就農者には資金交付も行っており、就農後の定着には有効。</p>	<p>【農林課】</p> <p>農業者の法人化等を支援することで6次産業化の可能性を高めるとともに、6次産業化に意欲的な団体等に対しては国県等事業を案内するなど今後の事業展開の後押しを行う。</p> <p>地域農業を担う次世代の農業者の確保は、最重要課題である。新規就農相談に対しては、関係機関及び関係団体と連携した支援を引き続き実施していく。</p>
---	--

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

(1) 基本的事項

		シートNo.	02
		戦略ページ	P. 33
区分	No.	名称	
基本目標	1	しごとをつくり、安心して働けるようにする (しごとづくり)	
基本方針	1	人材育成、技術能力向上支援	
施策項目	2	技術承継・人材育成	

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	若者の地元就業体制を確保するとともに、就業後の技能取得支援による雇用環境の向上を目指す。
事業概要	<p>■ものづくり技術者育成支援事業 (テクノ小千谷名匠塾支援)</p> <p>地域産業の強みである技術力の伝承・継承により、生産活動の維持・拡充と技術力を持った人材の育成を目指す。</p> <p>基幹産業である鉄工・電子などの技術者養成のため、テクノ名匠塾受講者による技能士試験へのチャレンジを支援する。</p>

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
鉄工電子組合技能士合格者数 (累計)	163人	176人	196人	781			220人	商工

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析 (実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

【商工振興課】	【商工振興課】
<p>テクノ小千谷名匠塾の受講生における技能検定合格者は着実に増加しており、高い技術力の継承が進められている。しかし、指導者の高齢化が進んでおり、今後の指導者確保が必要な状況になっている。</p> <p>また、小千谷市総合産業会館サンプラザ内における産業展示コーナーを一新し、市内企業の技術力をPRしていることで、市内の児童や学生など若者たちにアピールできるようキャリア教育にも取り組んでいる。</p> <p>技能検定合格者数 (H29 : 14名、H30 : 8名、R1 : 9名、R2 : 0名、R3 : 20名)</p>	<p>高い技術レベルを維持し、技術伝承による人材育成と一層の技術ブランド力の向上・強化を図るべくテクノ小千谷名匠塾への運営支援を続ける。</p> <p>また、産業展示コーナーだけでなく様々な就労事業と連携し、市内外の若者たちに対して、広く市内事業所における技術力の高さをPRする。</p>

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

(1) 基本的事項

シートNo.	04
戦略ページ	P. 34

区分	No.	名称
基本目標	1	しごとをつくり、安心して働けるようにする (しごとづくり)
基本方針	2	農業と錦鯉産業の成長産業化
施策項目	2	農産物等の付加価値産品開発、販路拡大

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	<ul style="list-style-type: none"> 消費者が求める付加価値を高めた農産品の確立を目指す。 錦鯉産業の海外市場への販路拡大による安定経営を目指す。
事業概要	<p>■アグリビジネス育成支援事業 農業資源を活用したアグリビジネスの育成支援を行う。</p> <p>■農産物販路拡大支援事業 米の海外市場への販路開拓を支援する。</p> <p>■常盤橋プロジェクト(錦鯉を核としたプロモーション事業)【地方創生交付金】 市の魚「錦鯉」を世界へ発信するため、東京・常盤橋地区に整備する錦鯉鑑賞池を活用するなど、市と錦鯉漁業協同組合によるPR活動を行う。また、錦鯉の輸出の拡大や新たな輸出国の開拓に向けたECサイトの構築によるプロモーションを行う。</p>

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
小千谷産米の海外市場流通量/年	477t	520t	906 t	1,665			700t	農林
錦鯉の海外展示出展数	1か国	0か国	0か国	-			1か国	農林
錦鯉の輸出額/年【地方創生交付金】	695百万円	643百万円	804百万円	-			800百万円	農林

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析(実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

【農林課】 コロナ禍等の影響による主食用米の全国的な適正在庫量超過を受けて、輸出用米転換への国の緊急支援策が実施され、小千谷地域でも令和3年度は輸出用米への取組みが伸びた。今後も米の需給動向等に注視していく必要がある。 鑑賞池を含むTOKYOTORCHParkは平日はオフィスワーク、休日は家族連れが多く利用している。ターゲットを見定めてPRを実施する必要がある。	【農林課】 主食用米の他作物への転換の必要性は、しばらく続く見込であり、小千谷地域の農業者が比較的取組みやすい輸出用米への転換を軸として支援を継続する。 TOKYOTORCHParkで開催される錦鯉品評会で小千谷市の錦鯉PRを行う。また、首都圏で開催されるイベント情報を把握し、幅広い層に対し、当市発祥の錦鯉PRを実施する。
--	--

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

(1) 基本的事項

シートNo.	05
戦略ページ	P. 34

区分	No.	名称
基本目標	1	しごとをつくり、安心して働けるようにする（しごとづくり）
基本方針	2	農業と錦鯉産業の成長産業化
施策項目	3	スマート農業普及推進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	農業へのICT等を活用した技術導入により、労働力不足等に対応した省力・精密化を目指す。
事業概要	<p>■スマート農業取組支援</p> <p>農業分野へのICT等を活用した技術導入を支援することで、農業従事者の減少や高齢化に対応できるよう、スマート農業による省力・精密化を図る。</p>

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
スマート農業による省力・精密化取組件数(累計)	-	3件	19件	4,547			10件	農林

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析(実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

<p>【農林課】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を克服するために、感染拡大防止対策を行いつつ、農業者が行う経営継続等のための機械・設備の導入に対して、国の緊急支援策が実施されたことで令和3年度は取組み件数が伸びたが、通常は国県等の補助を活用したスマート農業機械の導入は要件をクリアすることが難しい。</p>	<p>【農林課】</p> <p>国県等のスマート農業機械導入に対する支援事業は数多くあるが、農業者に対しては厳しい要件が求められる。市単独助成等を設けることは適当ではないため、引き続き地域の中心経営体の計画(動向)を注視し、国県等の支援策を結びつけることでスマート化を支援していく。</p>
--	---

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

(1) 基本的事項

シートNo.	06
戦略ページ	P. 35

区分	No.	名称
基本目標	1	しごとをつくり、安心して働けるようにする (しごとづくり)
基本方針	3	地場産業拡充、企業立地、創業支援の推進
施策項目	1	新技術・新製品開発

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	鉄工、電子、食品加工製造業などの基幹産業において、産学連携による新技術や新製品開発、設備投資による規模拡大を支援し、地域経済と雇用の安定・拡大を推進する。
事業概要	<p>■新技術・新製品開発支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 産学連携コーディネータの配置による技術相談、企業と大学、研究機関、金融機関等のマッチング、ネットワークの構築支援などを行う。 公益財団法人にいがた産業創造機構 (N I C O) 採択事業に対する支援を行う。 企業と大学・研究機関等が連携して行う研究開発・試作品開発に対する支援を行う。

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
新規共同研究事業採択件数 (累計)	0件	5件	6件	9,054			4件	商工

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析 (実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

<p>【商工振興課】</p> <p>産学共同研究事業においては、経済産業省「戦略的基盤技術高度化支援事業 (サポイン事業)」の採択に対する補助事業に2件、産学連携による市の「ものづくり研究・開発支援事業」に2件採択された。R3年度の新規事業採択件数は1件、期間内における累計採択件数は6件となり、R6年度目標値の4件を大きく上回った。</p>	<p>【商工振興課】</p> <p>引き続き市内企業と学術機関等とのマッチング支援を進め、新技術や新製品開発に繋がる取り組みを支援することで、地域の成長発展と基盤強化の推進に努める。</p>
---	---

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

シートNo.	07
戦略ページ	P. 35

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	1	しごとをつくり、安心して働けるようにする (しごとづくり)
基本方針	3	地場産業拡充、企業立地、創業支援の推進
施策項目	2	企業立地促進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	企業からの立地要望に対応できる工場用地を確保し、雇用拡大を図る。
事業概要	<p>■新工業団地造成事業 新たな工業団地の造成、分譲を行う。</p> <p>■企業立地促進事業 固定資産税の課税免除、用地取得費及び雇用促進への補助金交付、本社機能の移転支援ほか、空き工場等の情報提供などを行う。</p>

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
新規工業用地造成箇所・面積	1か所	0か所	0か所	-			2か所以上	商工
	4.17ha	0.0ha	0.0ha	-				商工
工業団地への立地件数 (累計)	-	0件	0件	-			3件	商工

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析 (実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

【商工振興課】	【商工振興課】
企業のニーズに沿った工業用地の整備を行うため、整備地区を慎重に選定する必要がある。	企業訪問等によりニーズを把握し、ニーズに沿った整備を実現するために企業立地支援チーム等で検討を進める。 また、事業リスクの低減とスピード感のある造成実現には民間活力の活用が有効であるため、民間開発を促進するための施策整備、周知を進める。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

(1) 基本的事項

シートNo.	08
戦略ページ	P. 35

区分	No.	名称
基本目標	1	しごとをつくり、安心して働けるようにする (しごとづくり)
基本方針	3	地場産業拡充、企業立地、創業支援の推進
施策項目	3	新規創業・第二創業

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	新規創業及び他分野進出のための第二創業を支援し、雇用拡大を図る。
事業概要	<p>■創業支援事業計画による起業・創業支援</p> <p>■おちやで開業応援事業 市内創業者に対し、初期投資を支援する。</p> <p>■空き店舗開業支援 中心市街地商店街の空き店舗を活用して開業する事業者に対し、開業費等を支援する。</p>

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
創業・第二創業相談件数/年	8件	17件	14件	-			10件	商工
創業、第二創業、開業数 (累計)	18件	24件	26件	880			30件	商工
中心市街地商店街の空き店舗を活用した開業数 (累計)	8件	10件	12件	1,700			15件	商工

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析 (実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

【商工振興課】	【商工振興課】
<p>創業相談件数は14名 (R2:17名)、創業塾の受講者は6名 (R2:12名) と減少したが、出店・開業支援補助事業については、事業拡大者が増加した。また、中心市街地商店街における創業・開業も増加したが、中心市街地商店街の空き店舗状況が把握出来ていない。</p> <p>・創業相談件数 H29:10件、H30:8件、R1:10件、R2:17件、R3:14件</p> <p>・中心市街地商店街創業件数 H29:3件、H30:1件、R1:2件、R2:0件、R3:2件</p>	<p>中心市街地商店街の空き店舗状況が把握出来ていないため、創業希望者へ情報提供出来るように空き店舗状況の把握に努め、創業・開業へ繋げたい。</p> <p>また、引き続き、小千谷商工会議所、新潟県よろず支援拠点及び(一社)新潟県起業支援センターと連携し、創業塾など創業・開業に関する相談事業を実施する。</p>

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

(1) 基本的事項

シートNo.	09
戦略ページ	P. 35

区分	No.	名称
基本目標	1	しごとをつくり、安心して働けるようにする（しごとづくり）
基本方針	3	地場産業拡充、企業立地、創業支援の推進
施策項目	4	国内・海外販路拡大

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	本市の基幹産業における海外市場への販路拡大を支援し、地域の経済と雇用の安定・拡大を推進する。
事業概要	<p>■海外展示会・見本市出展支援 販路拡大を目的とする展示会、見本市への出展を支援する。</p> <p>■海外事業展開相談会開催 海外に向けた事業展開を目指す事業者向けの相談会を開催する。</p> <p>■国内・海外販路開拓支援事業 新技術・新製品のPR、販路拡大を目的とする展示会・見本市への出展を支援する。</p>

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
海外展示会・見本市出展支援件数/年	1件	0件	0件	-			3件	商工
展示会见本市での商談件数/年	362件	51件	453件	1,501			450件	商工

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析 (実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

【商工振興課】	【商工振興課】
<p>国内・海外販路開拓支援事業補助金：9件（海外0件、国内9件） 商談件数：453件（海外0件、国内453件） 補助額：1,501千円（海外0千円、国内1,501千円） 海外展示会への出展については、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、活用する企業はいなかった。また、国内における展示会等の出展に関しても、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、9件の活用に留まったが、商談件数は増加しており、販路拡大に繋がった。</p> <p>・国内海外販路開拓支援件数 H29:24件、H30:8件、R1:10件、R2:7件、R3:9件</p>	<p>国・県・JETRO・NICO等において、海外展開事業者をサポートする事業があるため、引き続き広報等の情報提供に努める。</p> <p>市補助金を活用している事業所の固定化についても改善するため、商工会議所と連携し展示会等への出展検討事業所に対して更なる補助活用の周知に努める。</p>

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

(1) 基本的事項

シートNo.	10
戦略ページ	P. 36

区分	No.	名称
基本目標	1	しごとをつくり、安心して働けるようにする (しごとづくり)
基本方針	4	高齢者・障がい者の活躍できる機会の拡充
施策項目	1	技術力確保と生きがい雇用促進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	高齢者が生きがいを持ちながら、その経験、技能、知識を産業や地域社会に活かすことができるよう、高齢者の就業機会を拡充する。
事業概要	<p>■ 高齢者の技術力活用 高齢者が社会の担い手として活躍し続けられるよう、シルバー人材センターの充実を図る。</p> <p>■ 新たな手法による就業機会の確保 ふるさと納税によるサービス提供など、新たな手法によって就業機会の確保を目指す。</p>

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
シルバー人材センター会員数	394人	379人	378人	-			420人	福祉

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析 (実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

【福祉課】	【福祉課】
<ul style="list-style-type: none"> ・会員数378人 (前年度比1人減)、受注件数2,175件 (前年度比91件増)、契約金額115,750千円 (前年度比15,958千円増)、会員の就業率95.0% (前年度89.7%) となった。会員数は横ばい、受注件数と契約金額は昨年度を上回ったが、コロナの影響が少なかつた令和元年度の実績値までには回復していない状況。 ・コロナ禍にかかる新規の就業形態である小中学校校舎の除菌作業や、地域間移動ができず遠隔地からの施設管理の受注など、継続受注している。 ・除雪業務においては、2年連続の大雪で積雪量も昨年と同等であったが、降雪期間が長く就業日数が多かったことから昨年度の実績を上回った。 ・県連合会小千谷市事務所が実施する派遣事業については、会員数は171人 (前年度比15人増)、受注件数74件 (前年度比2件増) 及び契約金額39,385千円 (前年度比288千円増) と全てにおいて前年度を上回った。 ・シルバー事業は景気の動向や自然条件などに影響されやすく、年度ごとに増減がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、会員の拡大に努める。特に、会員数の約30%に伸びている女性会員の増員に注力する。 ・公共機関や市内企業に働きかけを行い、就業機会の拡大に努める。 ・未だコロナ禍の中であるが、社会情勢を注視しながら、特に民間企業からの受注回復に努める。 ・職種により経験や技能を持つ会員が少なくなっていること、雇用・定年延長が進むことに伴い新規入会者年齢の高齢化による経験年数不足等を踏まえて、技能者の養成に取り組む。 ・令和5年度からの基本方針となる「第4次中期計画」の策定にあたり、会員の意識調査を実施し、計画に反映していく。 ・総合事業訪問型サービスAのさらなる受託利用を勧めていく。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

(1) 基本的事項

シートNo.	11
戦略ページ	P. 36

区分	No.	名称
基本目標	1	しごとをつくり、安心して働けるようにする（しごとづくり）
基本方針	4	高齢者・障がい者の活躍できる機会の拡充
施策項目	2	障がい者の就労促進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	障がい者の雇用機会の拡充、確保を推進し、障がい者の自立と社会参加を促進する。
事業概要	<p>■障がい者の就業訓練拡充</p> <p>職場体験やインターンシップなどにより、障がい者の就業訓練機会を拡充する。</p>

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
福祉施設から一般就労への移行者数/年	4人	6人	0人	-			5人	福祉

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析 (実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

<p>【福祉課】</p> <p>・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため予定していた「小千谷市立総合支援学校見学会（障がい者雇用を考える会）及び「企業向け就労セミナー」は中止となったが、総合支援学校卒業生の地域就労を推進するため、市内の障がい者雇用に関心のある企業を個別に当たり、2名が企業就労へつながった。一方で、市内の福祉施設から一般就労への移行者は0人となった。コロナ禍で企業実習が出来なかったことが要因となる。今後も小千谷市立総合支援学校の卒業生が増加傾向にあることから、実習先となる企業の新規開拓が必要となる。</p>	<p>【福祉課】</p> <p>・障がい者の雇用促進にあたり、小千谷市立総合支援学校、公共職業安定所、商工会議所など関係機関と連携し、実習先となる市内企業の開拓と確保に努める。また、障がい者に対する理解を深めるための取り組みを行う中で、企業が求めている人材とのマッチングができるように、企業と就労支援事業所との接点づくりを行う。また、農業法人への受注依頼等働きかけを行い、農福連携にも力を入れて取り組んで行く必要がある。</p>
---	--

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

シートNo.	12
戦略ページ	P. 38

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	2	新しいひとの流れをつくる (ひとの流れ)
基本方針	1	若年層の交流・転入促進
施策項目	1	U・Iターンの推進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	本市の強みである基幹産業を中心に企業の情報発信を強化し、若者のU・Iターンを考える機会を増やすことにより、U・Iターンの増加につなげる。
事業概要	<p>■ Uターン就職支援事業【地方創生交付金】(商工振興課)</p> <p>Uターン就職を希望する大学生・専門学生などを対象とした就職セミナーや企業見学ツアーの開催、インターンシップの受入などの支援を行う。</p>

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
15～34歳の転入者数/年	412人	340人	280人	-			420人	商工
就労情報希望者数/年	195人	187人	361人	1,432			750人	商工
就労ガイダンス等の開催回数/年	5回	8回	4回	3,340			5回	商工
企業見学交流バスツアーの実施回数/年	1回	2回	2回	1,646			2回	商工

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析(実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

<p>【商工振興課】</p> <p>R2年度より運用を開始している就労支援アプリ登録者数が361人となった。</p> <p>就労イベント等に関しては、コロナ禍により中止となった事業もあるが、オンラインを活用するなど対策を講じて若者への就労サポートや企業の採用サポートを実施した。</p> <p>・インターンシップ支援実績 H29:55件、H30:48件、R1:57件、R2:17件、R3:31件</p>	<p>【商工振興課】</p> <p>高等教育機関等への進学で市外に転出した大学生・専門学校生等に対し、地元企業でのインターンシップ仲介や就労情報の発信及び各種就労セミナーの開催などのUターン就職支援事業を引き続き進める。</p>
---	--

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

(1) 基本的事項

シートNo.	13
戦略ページ	P. 38

区分	No.	名称
基本目標	2	新しいひとの流れをつくる (ひとの流れ)
基本方針	1	若年層の交流・転入推進
施策項目	2	若い世代の定住促進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	移住・定住に対する経済的支援環境を整備し、移住者・定住者を増加させる。
事業概要	<p>■転入者住宅取得補助 市内に住宅を取得する個人に対し、費用の一部を補助する。</p> <p>■子育て世代住宅取得促進 市内に住宅を取得する50歳未満の者又は18歳未満の子がいる者に対し、取得費用の一部を補助する。</p>

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
転入者住宅取得補助利用件数/年	22件	23件	19件	5,450			25件	建設
子育て世代の住宅取得補助利用件数/年	44件	78件	70件	27,000			60件	建設

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析 (実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

【建設課】	【建設課】
住宅補助事業の利用件数は堅調に推移している。 (R3年度は資材不足や高騰の影響もあり、取り下げもあったが、概ね例年と変わらない件数で推移) この補助事業が転入等の契機になったかは不明。	<ul style="list-style-type: none"> 補助事業利用者に対して、アンケート等による実態調査を行い、事業成果を客観的に検証する。 市内外へのさらなる情報発信。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

(1) 基本的事項

シートNo.	14
戦略ページ	P. 38

区分	No.	名称
基本目標	2	新しいひとの流れをつくる (ひとの流れ)
基本方針	1	若年層の交流・転入推進
施策項目	3	若者交流の推進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時相互援助協定締結自治体との交流を活かして、観光・文化・教育体験など多様な分野のツーリズムを推進し、交流人口の増加を目指す。 ・大学などの合宿誘致による新たな交流を構築し、小千谷の認知度を高めて交流から始まるIターンを推進する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ゼミ・サークル合宿誘致・交流事業 「おぢゃ〜る」に大学などのゼミ・サークル合宿を誘致し、新たな交流事業を展開する。 ■教育体験旅行 首都圏などの中学生を農家等の個人家庭が受け入れ、民泊しながら農業体験や農村生活体験などを行う。

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
市民の家等合宿利用団体数 (市外) /年	7団体	1団体	1団体	-			10団体	観光
教育体験受入家庭登録世帯数	64世帯	74世帯	70世帯	-			70世帯	観光

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析 (実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

【観光交流課】	【観光交流課】
新型コロナウイルス感染症の影響を受け、市外合宿利用の受け入れは1団体のみとなった。	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、既存利用者への合宿誘致などにより、利用団体数の回復に努める。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

(1) 基本的事項

シートNo.	15
戦略ページ	P. 39

区分	No.	名称
基本目標	2	新しいひとの流れをつくる (ひとの流れ)
基本方針	2	移住・定住支援
施策項目	1	小千谷の暮らし情報発信

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	増加傾向にある空き家を有効活用し、小千谷暮らしを実現するための情報提供・発信体制を整備する。
事業概要	<p>■小千谷移住PR事業 移住ポータルサイトの運営などによる小千谷暮らしの情報発信を実施する。</p> <p>■空き家情報ネットワーク構築 利用可能な空き家の調査、所有者への登録勧奨を行い、「空き家情報バンク」による空き家の流通を促進する。</p>

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
移住ポータルサイトアクセス件数/月	228件	320件	2,038件	-			2,500件	観光
空き家バンク登録件数 (累計)	23件	32件	42件	-			50件	観光

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析 (実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

<p>【観光交流課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住ポータルサイトは移住を考える方の最初の窓口であり継続して運営していく必要がある。 ・新規登録物件数の増加に伴い成約数も増加したが、空き家の増加に見合う数は登録されていない。 ・空き家バンク成約時の住宅購入等補助を行っている自治体もある。 	<p>【観光交流課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住ポータルサイト内の情報を充実させ、迅速な情報発信に努める。 ・中古住宅の需要は増加しており物件登録数を増やす必要がある。空き家バンク制度の周知に努め、登録数の増加に繋げる。 ・空き家バンク登録増に向けた制度周知のほか、他自治体を参考にした補助制度などの検討。
--	---

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

シートNo.	16
戦略ページ	P. 39

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	2	新しいひとの流れをつくる (ひとの流れ)
基本方針	2	移住・定住支援
施策項目	2	交流・お試し移住推進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	様々な形での交流やお試し移住体験の受入体制を確保することで定住促進を図る。
事業概要	<p>■おぢやクラインガルテンふれあいの里利用推進事業（観光交流課） おぢやクラインガルテンふれあいの里を活用した二地域居住（お試し移住）の体験機会を提供する。</p> <p>■お試し移住促進セミナー開催事業（観光交流課） 移住相談セミナーの開催や相談窓口への情報提供により、幅広い田舎暮らしへのニーズに対応する。</p> <p>■小千谷体感バスツアー事業（観光交流課） 地方でしか体験できない、あるいは都市でしか体験できない相互交流プログラムを提供し、顔の見える関係づくりを推進する。</p>

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
ラウベ入居者が移住について検討している割合	20%	23%	10%	-			50%	観光

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析 (実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

【観光交流課】	【観光交流課】
<ul style="list-style-type: none"> 利用者はラウベ暮らしを楽しんでいるが、市内移住に進む意思を持つ利用者は少ない。 利用者がラウベ生活と同程度の住宅を市内で希望しても、見合う住宅が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用開始から早期に市内移住の選択肢を考えられるように、利用者への働きかけを進める。(管理棟掲示板での周知、空き家バンク等)

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

シートNo.	17
戦略ページ	P. 39

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	2	新しいひとの流れをつくる (ひとの流れ)
基本方針	2	移住・定住支援
施策項目	3	移住・定住支援

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	地域おこし協力隊の活用による地域活性化とともに、連携による定住を促進するなど、移住者の受け入れ態勢を確保する。
事業概要	<p>■地域おこし協力隊推進事業 地域と連携し、住居の提供や世話役の配置など、地域おこし協力隊の受け入れ環境の整備を行い、定住促進と地域活性化に向けて協力隊を活用する。</p> <p>■小千谷移住推進事業 関係機関と連携し、首都圏などで移住セミナー・相談会を開催する。</p>

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
地域おこし協力隊員配置/年	8人	8人	7人	21,449			9人	観光
市内への転入者数(転勤、施設入所等を除く)/年	360人	307人	322人	-			380人	観光

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析(実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

【観光交流課】	【観光交流課】
<ul style="list-style-type: none"> 協力隊員の受入環境、相談体制を整備するため支援員の配置は必要。 オンライン型のセミナー等では相談実績が少ない。対面型のセミナー等に参加できるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 協力隊員の活動内容の共有や相談体制の整備など、ミスマッチが起きないようにしくみづくりを整える。 テレワークの普及などから地方移住への関心度は高いため、セミナーや移住相談会に継続的に参加する。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

(1) 基本的事項

シートNo.	18
戦略ページ	P. 39

区分	No.	名称
基本目標	2	新しいひとの流れをつくる (ひとの流れ)
基本方針	3	地域資源 (特産品、史跡、風景、文化) の活用及び連携
施策項目	1	小千谷ブランドの形成

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	地域住民とともに地域資源をブランド化し、アピールすることによって、地域に誇りを持つ環境づくりを推進するとともに、新たな経済活動の拡充による雇用を創出する。
事業概要	<p>■小千谷ブランディング事業 (観光交流課) 地域住民が地域資源を活用し、地域の魅力を高める事業に対して補助を行う。</p> <p>■市の魚錦鯉世界アピール発信事業 (農林課) 国や県と連携し、錦鯉の販路拡大に繋がるPRを実施する。また、長岡市と連携し、『長岡・小千谷「錦鯉発祥の地」活性推進協議会』において国内外へ発信する。</p> <p>■世界農業遺産 (GIAHS) 認定活動事業 (農林課) 世界農業遺産 (GIAHS) 認定に向け、国内外を問わず錦鯉のPR活動を実施する。</p> <p>■常盤橋プロジェクト【地方創生交付金】 (農林課) 東京・常盤橋地区に官民連携で整備する錦鯉鑑賞池を核として錦鯉のみならず地域の魅力や特産品などを国内外に発信する。</p>

■ 実施 (Do)

(1) 指標 (目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
地域資源発見・活用事業実施	-	1件	0件	-			事業実施	観光
錦鯉の海外展示出展数 (再掲)	1か国	-	0か国	-			1か国	農林
錦鯉世界農業遺産 (GIAHS) への認定	-	-	-	-			認定	農林
錦鯉PR拠点数	1か所	1か所	2か所	10,800			2か所	農林

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析 (実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

<p>【観光交流課】</p> <p>コロナ禍による地域活動の停滞により、市民協働支援補助金活用は0件となった。高齢化の進行と若い世代の地域活動への参加意識低下が、地域活性化に取り組む活動の低下につながっている。</p>	<p>【観光交流課】</p> <p>市民協働、地域活動の啓発と補助制度の活用推進により活動の活発化を促していく。</p>
<p>【農林課】</p> <p>新型コロナウイルスの影響で海外展示は実施できなかった。国内向けには、錦鯉品評会や常盤橋錦鯉鑑賞池でのイベント実施時にもPRを行うとともに、富士運輸(株)が所有するトラックを錦鯉デザインでラッピングを施して民間と連携してPRを実施した。今後も前例に倣われない手法のPRが必要。</p>	<p>【農林課】</p> <p>TOKYOTORCHParkで開催される錦鯉品評会で小千谷市の錦鯉PRを行う、また、三菱地所(株)とも連携し、TOKYOTORCHParkイベント情報を把握し、首都圏の幅広い層に対し、当市発祥の錦鯉PRを実施する。</p>

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

(1) 基本的事項

シートNo.	19
戦略ページ	P. 39

区分	No.	名称
基本目標	2	新しいひとの流れをつくる (ひとの流れ)
基本方針	3	地域資源 (特産品、史跡、風景、文化) の活用及び連携
施策項目	2	観光拠点づくりと外国人の観光誘客

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 錦鯉、小千谷縮などの世界に誇れる地域資源を活用し、2020東京オリンピック・パラリンピックを契機として、国内外からの観光誘客の増強を目指す。 ・ 通年的に訪れ、楽しむことのできる観光拠点や観光ルート整備を行い、物語性や経済的価値を高めた観光基盤の確立を目指す。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国内・海外プロモーション事業 国内外において、旅行業者を中心とした誘客プロモーション活動を実施する。 ■ 外国人観光客受入体制整備・拡充支援事業 外国人観光客を念頭においた観光PRや、観光パンフレット・ホームページの充実、旅行商品の開発・販売促進を行う。 ■ 観光拠点・ルート整備事業 当市の地域資源 (錦鯉、牛の角突き、小千谷縮、花火、へぎそば等)、史跡、風景、文化など、多様なニーズに応じた観光ルートを整備 (ユニバーサル対応) する。

■ 実施 (Do)

(1) 指標 (目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
旅行業者取扱件数/年	724件	70件	39件	-			800件	観光
新規観光周遊コース設定数	4コース	4コース	9コース	19,619			6コース	観光

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析 (実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

【観光交流課】	【観光交流課】
<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光庁：地域観光資源磨き上げ事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ モニターツアー：3回 (うち専門家視察1回) ・ モデルコース設定：4コース ■ 常盤橋事業：観光マーケティング商品開発業務 <ul style="list-style-type: none"> ・ モニターツアー：3回 (うちオンライン1回) ・ モデルコース設定：1コース <p>プライベート花火や熱気球体験、山本山の自然など新たな観光商品開発に取り組んだが、錦鯉をはじめ織物や花火など当市の産業として発展してきたものを観光商品として提供するには、ハード整備など設備の改修も必要であり、何より事業者連携や調整役のコーディネーターとなる組織や人材が整っていない点が課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ その他：(観光庁) 多言語整備事業により外国人旅行者 (ネイティブ) 目線による英語解説文を作成した。作成にあたり市内現地視察を行った。 	<p>観光客受入れの調整役となる組織や人材の育成が必要となるが、体制づくりには関係団体や事業者等と相当な調整が必要であり、組織再編や新組織立ち上げも含めた方向性 (観光ビジョン) の検討に取り組む。制作してきたプロモーション動画やVR、多言語 (英語) 解説文や外国語版プロモーション動画も含め、HPやSNS、イベント等でも活用しPRを行う。</p>

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

シートNo.	20
戦略ページ	P. 39

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	2	新しいひとの流れをつくる (ひとの流れ)
基本方針	3	地域資源 (特産品、史跡、風景、文化) の活用及び連携
施策項目	3	交流・協働ネットワークの形成

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	地域活動を担う個人や団体と行政をつなぐ中間支援組織の活動を支援し、団体間のネットワーク化などにより、市民協働を推進する。
事業概要	<p>■市民協働意識醸成事業 多様な広報媒体による意識啓発、市民協働ワークショップなどの開催による意識醸成活動を行う。</p> <p>■中間支援組織支援事業 地域づくり支援団体が協働の当事者を支援するための活動に対する支援を行う。</p> <p>■NPO法人設立支援事業 NPO法人設立に関する相談及び設立支援を行う。</p>

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
市民協働センターを含む市民団体等による連携事業数	3事業	1事業	0事業	-			10事業	観光

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析 (実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

【観光交流課】	【観光交流課】
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い市内で開催されている行事の大半が休止したことにより、市民協働の活動が停滞した。 地域づくり支援団体が活動を休止したことにより目標達成が不可能になった。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民協働の取組みを支援する補助制度や啓発を行い、市民活動の再開に向けた機運を醸成する。観光交流課が直接事業実施するわけではないため、現行の相談体制を維持しながら市民活動を支援していく。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

(1) 基本的事項

シートNo.	21
戦略ページ	P. 41

区分	No.	名称
基本目標	2	新しいひとの流れをつくる (ひとの流れ)
基本方針	4	関係人口の創出・拡大による地域情報発信と交流促進
施策項目	1	関係人口の創出・拡大

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	本市出身者やおぢやファンクラブ会員、ふるさと納税寄附者など、様々な形で本市に関心を持つ関係人口の拡大により新しい繋がりひとの流れを創り出す。
事業概要	<p>■おぢやファンクラブ等による関係人口の拡充 (商工振興課)</p> <p>■ふるさと納税リピーターの拡充 (企画政策課)</p> <p>本市出身者やおぢやファンクラブ登録者、ふるさと納税者などを関係人口として位置付け、地域の魅力や観光、製品の情報を全国に発信する。</p>

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
おぢやファンクラブ登録者数 (累計)	14,350人	15,095人	15,523人	-			16,100人	商工
ふるさと納税者数/年	11,106人	13,440人	13,607人	225,719			15,000人	企画
ふるさと納税により複数回寄附した人数 (累計)	3,300人	6,321人	8,408人	-			4,300人	企画

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析 (実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

<p>【商工振興課】</p> <p>・登録者数は前年と比較して428人増加し、基準年度から連続して増加している。 (R3:15,523人、R2:15,095人、R1:14,846人)</p> <p>・売り上げについては微減となった。 (R3:19,310千円、R2:19,600千円、R1:16,200千円)</p>	<p>【商工振興課】</p> <p>引き続き、販路拡大業務委託 (販路開拓) を首都圏エリアだけでなく他エリアでも行い、広く知名度・会員登録者数の増加を図る。また、魅力ある商品づくりに対する補助事業等 (ブラッシュアップ相談会、地場産品開発支援事業) を引き続き行い、ファンクラブ推奨品に一層のプレミアム感を持たせ、商品のマンネリ化を改善する。</p>
<p>【企画政策課】</p> <p>ふるさと納税返礼品数の増加やポータルサイトの拡充等により、納税者数・リピーター数共に増加しており、ふるさと納税を通じて小千谷市の情報発信や製品のPRにつながっている。 返礼品数は増加しているが、他市町村と比較すると少ない状況である。また、寄附単価についても全国へ金と比較すると2倍の単価となっている。</p>	<p>【企画政策課】</p> <p>ふるさと納税制度の一層の有効活用による小千谷市の魅力発信と製品のPR促進 (様々な寄附者ニーズに対応するための返礼品の拡充、新規寄附者獲得のための情報発信、リピーター数増加に関する取組)</p>

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

(1) 基本的事項

シートNo.	22
戦略ページ	P. 41

区分	No.	名称
基本目標	2	新しいひとの流れをつくる (ひとの流れ)
基本方針	4	関係人口の創出・拡大による地域情報発信と交流促進
施策項目	2	本市出身者や交流自治体等在住者との交流促進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	市内出身で進学や就職などにより市内を離れている方に対するアプローチを用意し、本市との継続した関わりを持てる機会を創出する。
事業概要	<p>■大学ゼミ・サークル合宿等誘致・交流事業 (再掲) 「おぢや〜る」に大学などのゼミ・サークル合宿を誘致し、新たな交流事業を展開する。</p> <p>■就労支援情報、地域情報発信事業 Uターン就職を希望する大学生・専門学生などを対象に、各世代に適した就労支援情報を発信し、地元へのUターン就職へ繋げる。</p> <p>■本市出身者等との交流事業運営支援 本市出身者とおぢやファンクラブ登録者やふるさと納税者など本市とつながりのある人・団体に関係人口として組織化し、新たな交流の仕組みづくりを行う。</p>

■ 実施 (Do)

(1) 指標 (目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
市民の家等合宿利用団体数 (市外) / 年 (再掲)	7団体	1団体	1団体	-			10団体	観光
就労支援情報等を利用する本市出身者数 (累計)	-	187人	361人	1,432			2,000人	商工
市民と市外在住者との新たな交流会実施回数/年	-	0回	0回	1,176			10回	観光

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析 (実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

【観光交流課】 ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、直接人が集まる機会である同窓会等の開催が中止となった。 ・関係人口拡大推進のため、各種SNSを活用した取組「おぢやLINK」をスタートさせた。	【観光交流課】 ・感染症対策を取ることで各種行事を実施していく。 ・会員の増加対策及び会員間の交流を引き続き進めていく。
【商工振興課】 成人式出席者における地元就労支援情報の希望者数は、R3年度は187名 (成人式出席者数335名) となり、R2年度61名 (成人式出席者数171名) と比較して増加した。 なお、R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により成人式の規模を縮小して開催した。	【商工振興課】 高等教育機関等への進学で市外に転出した大学生・専門学校生等に対し、ポストコロナ・ウィズコロナ時代を見据えたうえで、各世代に適した就労情報の発信に努める。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

(1) 基本的事項

シートNo.	23
戦略ページ	P. 42

区分	No.	名称
基本目標	3	結婚・出産・子育ての希望をかなえる (結婚・出産・子育て)
基本方針	1	未婚化・晩婚化対策
施策項目	1	婚活事業の推進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	<ul style="list-style-type: none"> 本人の意思を最大限に尊重しながら、気軽に参加できる交流や出会いの場を提供し、結婚への展開に結びつける。 結婚や出産に関するセミナーを開催し、結婚に対するイメージアップを図る。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ときめきめぐりあい推進事業 (生涯学習課) 1対1のお見合いや婚活イベントを実施し、結婚希望者に出会いの場を提供する。 ■地域少子化対策強化事業 (健康未来子ども課) 結婚～妊娠～出産～育児など、結婚から子育てまでのライフステージにおけるセミナー・個別相談会の開催や、情報提供を行う。

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
婚活支援事業による成婚数 (累計)	40組	50組	55組	7,169			76組	生涯
セミナー等の参加者の結婚や出産等に対するプラスイメージを持つ割合	96.6%	78.9%	82.4%	10			100.0%	健康

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析 (実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

【生涯学習課】 <ul style="list-style-type: none"> 昨年度と同数の5組のカップルが新たに成婚した。今年度は男女のイベントと女子会イベントの計2回が新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となり、お見合い回数も昨年度とほぼ変わりなかったため、次年度への種まきが十分にできなかった。今後の成婚数への影響が懸念される。 会員数は昨年度と比較して1人減の175名となった。出会いの機会を増やすためにも、各所へPRを行い、会員数を増加させる必要がある。 	【生涯学習課】 <ul style="list-style-type: none"> 今後は公式LINE、Instagram、Twitterの運用を開始し、比較的若い世代をターゲットにした周知を行う。 サポートセンターを設置している自治体間同士の情報交換や連携を図る。 新型コロナウイルス感染拡大の影響によるイベントの中止を避けるため、少人数イベントを数多く開催する。
【健康未来子ども課】 <ul style="list-style-type: none"> 「中学生と赤ちゃんとのふれあい交流会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、内容を縮小し(親子参加無し)、希望のあった中学校1校で実施した。 赤ちゃんとの交流はできなかったが、妊娠・出産や思春期の心身の健康に関する助産師の講話や育児に関する動画視聴、赤ちゃん人形の抱っこ体験等を実施し、結婚・出産等にプラスイメージを持つ割合は前年度と比較して3.5ポイント上昇した。 	【健康未来子ども課】 <ul style="list-style-type: none"> 妊娠・出産に関する正しい知識や、子に対する親の愛情、育児について学び、将来「親」になることを具体的に考える機会としたい。 多様な選択肢があるなかで、赤ちゃんをかわいいと感じ、結婚・出産等にプラスイメージを持てるよう、新型コロナウイルス感染症の状況も考慮しながら引き続き実施していく。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

(1) 基本的事項

シートNo.	24
戦略ページ	P. 43

区分	No.	名称
基本目標	3	結婚・出産・子育ての希望をかなえる (結婚・出産・子育て)
基本方針	2	安心できる出産・子育て環境の充実
施策項目	1	妊娠・出産期の健康支援

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	安心して出産できるよう、妊娠・出産期や小児期の医療体制を継続して確保する。
事業概要	<p>■妊婦健診事業 妊婦が出産まで定期的に検査や保健指導を受けるための妊婦健診を実施する。</p> <p>■妊婦歯科検診事業 妊娠期間中の歯周病の早期受診・早期治療を促すため、妊婦を対象に歯科検診受診券を発行する。</p>

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
妊産婦・新生児訪問指導の実施率	94.4%	92.8%	95.5%	1,720			98.0%	健康
妊婦歯科検診受診率	32.6%	54.2%	51.1%	2,760			70.0%	健康

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析 (実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

【健康未来こども課】	【健康未来こども課】
<p>・訪問指導実施率の内訳では、妊婦88.3%、産婦99.4%、新生児98.9%であった。妊婦訪問指導は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対象者へ電話による状況確認を行い、訪問は希望者のみとしたことにより、実施率がやや低い結果となった。</p> <p>・妊婦歯科検診受診率は3.1ポイント低下した。新型コロナウイルス感染の影響による受診控えや、忙しさから受診率は50%台となっている。引き続き妊娠届出時に受診勧奨を実施する。</p>	<p>・引き続き、妊婦健診事業を実施する。また、子育て世代包括支援センターを核とした妊産婦・新生児訪問指導等による妊産婦の情報把握や、産科医療機関との連携により、妊産婦の心身の健康支援の充実に取り組む。</p> <p>・妊婦歯科検診については、妊娠届出時や妊婦訪問指導時に受診勧奨を実施し受診率の向上を目指す。</p>

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

(1) 基本的事項

シートNo.	25
戦略ページ	P. 43

区分	No.	名称
基本目標	3	結婚・出産・子育ての希望をかなえる（結婚・出産・子育て）
基本方針	2	安心できる出産・子育て環境の充実
施策項目	2	保育環境の充実

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	育児不安の解消や子育て世代の経済的負担を軽減するため、地域で子育てを支援する仕組みづくりを推進し、健やかに生み育てる環境の充実を図る。
事業概要	<p>■子ども・子育て支援事業 「小千谷市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、市民に適切なサービスを提供し、子どもの健やかな育ちと子育てを社会全体で支援する環境を整備する。</p> <p>■放課後児童健全育成事業 放課後に児童が安全に過ごす場所を確保し、保護者が安心して働ける環境づくりを行うため、学童保育運営団体に対する補助を行う。</p>

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
保育園受入定員数 (3歳未満児の保育拡充) /年	1,105人	1,191人	1,187人	-			1,105人	健康
病児・病後児保育施設数	-	1か所	1か所	11,396			1か所	健康
学童クラブ (通年型) 設置数	10団体	10団体	11団体	35,974			12団体	健康

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析 (実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

【健康未来こども課】	【健康未来こども課】
<ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満児の保育ニーズの高まりから、市立保育園及び私立認定こども園において、3歳未満児の定員を増加し、待機児童は0人であった。 ・保育園では、保育ICTシステムを導入した。 ・病児病後児保育室の利用延人数は32人であり、コロナ禍ではあったが、昨年度と比較して増加した。 ・学童クラブは、東小千谷地区で1クラブが新設され、児童の分散化を図ったが、西小千谷地区では、定員を超えた受け入れを行っているため、受入体制の確保と保育の質を高めていくことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未満児保育ニーズの高まりや早朝・延長保育ニーズの増加等に対応するための保育士の確保に努める。 ・保育ICTシステムを活用し、事務の効率化を図り、保護者の利便性の向上や保育士の働く環境の整備に取り組む。 ・今後も、広報やホームページ、保育園・認定こども園・わんパーク・病院等で病児病後児保育室に関する周知を行う。また、「病児病後児保育室」を身近に感じ、利用しやすくするため、見学を受け付ける。 ・学童クラブでは、適切な環境を確保し、十分な質の保育を提供するため、引き続き、利用人数に応じた会場、体制の確保に取り組む。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

(1) 基本的事項

シートNo.	26
戦略ページ	P. 43

区分	No.	名称
基本目標	3	結婚・出産・子育ての希望をかなえる（結婚・出産・子育て）
基本方針	2	安心できる出産・子育て環境の充実
施策項目	3	子どもの遊び場の整備

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	施設の効率的な活用を検討しながら、冬期間でも子どもたちが安心してのびのびと遊べる場所を確保する。
事業概要	<p>■都市公園の整備（建設課） 利用しやすく魅力のある公園を目指し、公園緑地の適切な維持管理を実施する。</p> <p>■屋内遊び場の整備（健康未来こども課、建設課、生涯学習課） 安心して利用できる全天候型の子どもの遊び場設置について、新規施設や既存施設の効率的な活用を含めて検討する。</p>

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
都市公園面積	604千㎡	604千㎡	639千㎡	-			639千㎡	建設
屋内遊び場の施設数	1か所	1か所	1か所	-			2か所	健康・建設・生涯

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析(実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

<p>【健康未来こども課】</p> <p>・地域子育て支援拠点「わんパーク」では、遊具やおもちゃ、絵本等を設置し、外遊びスペースには夏に小型プールを設置する等、子どもたちが安心して遊べるように環境を整えている。</p>	<p>【健康未来こども課】</p> <p>・「わんパーク」では、子どもたちが安心・安全に遊べるよう、引き続き、衛生面、安全面の確保を図る。</p> <p>・図書館等複合施設については、引き続き、整備に関する協議に参加し、子どもが安心して遊ぶことができる屋内施設の整備について検討する。</p>
<p>【建設課】</p> <p>【都市公園】※防災公園：危機管理課 既存都市公園については整備、管理コストから大規模改修が困難。</p> <p>【屋内遊び場】 図書館等複合施設の設計業務に着手し、複合機能である屋内広場を含め令和6年度の供用開始を目指す。</p>	<p>【建設課】</p> <p>【都市公園】※防災公園：危機管理課 既存公園については、維持管理を委託する町内会等との協議、意見交換を進め、時代、社会のニーズに即した公園の整備を目指す。</p> <p>【屋内広場】 市民協働及び関係機関との協議を進め、用途、規模、機能や運営形態について検討する。</p>
<p>【生涯学習課】</p> <p>・未就学の乳幼児を対象に市民会館内に「わくわくルーム」を、総合体育館内に「幼児プレイルーム」を設置している。また、小学4年生以下を対象に総合体育館内に「キッズルーム」を設置している。年齢に応じた室内での子どもの遊び場を提供している。</p>	<p>【生涯学習課】</p> <p>・子どもたちが安心・安全に遊べるよう、定期的な点検等を実施し衛生面、安全面の確保を図る。</p>

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

(1) 基本的事項

シートNo.	27
戦略ページ	P. 43

区分	No.	名称
基本目標	3	結婚・出産・子育ての希望をかなえる（結婚・出産・子育て）
基本方針	3	教育環境の充実
施策項目	1	学びの環境づくり

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	将来を担う子どもたちに対して、地域を知る教育や世界に通じる人材を育成する学びの環境づくりを進める。ICTを活用した教育環境の整備、読書（本にふれる機会）の習慣化や生きた外国語による語学教育を推進し、世界に羽ばたく子どもを育む。
事業概要	<p>■読書や外国語会話の機会拡充（生涯学習課・学校教育課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での読み聞かせ啓発、保育園や子育て支援センターなどと連携した図書館サービスを実施する。 ・実用的英会話能力の向上や国際理解教育の推進を図るため、外国語指導助手（ALT）を各学校に派遣する。 <p>■教育ICT環境の整備（学校教育課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の情報活用能力を育成するため、学校のコンピュータ機器と教材を充実させるとともに、情報モラル教育を行う。

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
図書館や学校図書室を週2回以上利用する児童生徒の割合	30.8%	28.6%	25.1%	-			50.0%	生涯
留学生との交流事業（小中学校）/年	4校・13回	0回	2回	70			各校1回以上	学教
児童生徒用学習端末の整備率	14.0%	100.0%	100.0%	-			100%	学教

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析（実績値を踏まえた課題・問題点等）

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

<p>【生涯学習課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のためブックスタート事業の読み聞かせは6か月で実施ができなかった。 ・学年が上がるごとに読書しない児童生徒が増加する傾向のあり、図書館の利用者も減少する。 ・小中学校図書館において、マンパワーや選書などに伴う専門的知識の不足が問題点として挙げられている。 	<p>【生涯学習課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業については感染予防対策を十分に行いつつ、これまでの参集型の形式だけに拘らないイベントを実施するものとした。 ・ブックトークなど小学校の高学年や中学校でも利用してもらえる学校支援を充実させていく。 ・小中学校学校図書館担当者会議や学校への訪問機会を設け、現状の把握や支援方法について検討していく。
<p>【学校教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症の影響で留学生の各学校への派遣はできなかったが、冬休みにウインターイングリッシュキャンプを全小中学生の希望者を対象に実施し、多くの留学生と触れ合うことができた。 ・全児童生徒に1台ずつ配備する学習用端末はR2年度末に整備済 	<p>【学校教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染拡大状況を見極めつつ、可能であれば各校への留学生の派遣を行いたい。難しければ、昨年度同様に全小中学生を対象としたセミナー（イングリッシュキャンプ）を実施する。 ・教室等で使用している提示装置（テレビ）はG I G Aスクール構想前に整備されたものであり、学習用端末を繋いでの授業では、画面サイズに不足を感じる場面が見られる。計画的な機器更新を検討する。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

(1) 基本的事項

シートNo.	28
戦略ページ	P. 46

区分	No.	名称
基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域が連携する（まちづくり）
基本方針	1	にぎわいのまちの顔づくりと地域間交流
施策項目	1	都市計画の推進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	都市計画マスタープランの見直しにより、人口減少社会に合った効率的な施設配置等を推進する。
事業概要	<p>■都市計画の推進 上位計画である第五次小千谷市総合計画、小千谷都市計画区域の整備、開発及び保全の方針に即しながら定める。</p>

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
都市計画マスタープランの見直し	-	-	-	-			見直し完了	建設

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析 (実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

【建設課】	【建設課】
図書館等複合施設を中心とした都市構造の変化の予測、把握が必要。	令和4～5年度に基礎調査を実施し、図書館等複合施設を中心とした人流変動や、居住誘導区域における人口動態などの把握に努める。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

(1) 基本的事項

シートNo.	29
戦略ページ	P. 46

区分	No.	名称
基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域が連携する（まちづくり）
基本方針	1	にぎわいのまちの顔づくりと地域間交流
施策項目	2	中心市街地の整備推進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	本町地区の総合病院跡地をはじめとする中心市街地について、「西小千谷地区市街地まちづくり基本計画」や「西小千谷市街地地区都市再生整備計画」に基づき、交通利便性を活かした賑わいを創出する。
事業概要	<p>■西小千谷市街地地区まちづくり推進事業</p> <p>中心市街地の本町地区に立地し、中核的施設としての役割を担っていた総合病院の跡地利用について、「西小千谷地区市街地まちづくり基本計画」や「西小千谷市街地地区都市再生整備計画」に基づき、官民連携事業として図書館等複合施設の整備を推進する。</p>

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
都市再生整備計画事業の実施	-	着手	-	-			事業完了	建設
図書館等複合施設の整備・運営	-	着手	-	-			整備完了 運営開始	建設

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析(実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

【建設課】 「賑わい・交流・憩いの創出」を基本方針とした拠点施設の図書館等複合施設の整備に向け、設計業務に着手した。また、市民主体、持続的な体制づくりに向け、一過性ではない市民協働の推進が必要である。	【建設課】 官民連携事業（小千谷リビングラボ）の継続と、令和6年の供用開始に向けた進捗管理、気運の醸成。
---	---

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

(1) 基本的事項

シートNo.	30
戦略ページ	P. 46

区分	No.	名称
基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域が連携する（まちづくり）
基本方針	2	ひとにやさしい交通網の整備
施策項目	1	地域公共交通体系の整備

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	誰にとっても使いやすい生活交通を確保するため、地域の実情に合った効率的な公共交通の見直しを行う。
事業概要	<p>■公共交通確保計画策定事業 市民の交通手段である公共交通機関について、利便性の向上、交通弱者の移手段や生活に密着した交通手段を、地域の特性等を考慮する中で効率的かつ効果的に確保するための公共交通確保計画を策定する。</p> <p>■地域コミュニティバスの運行 地域住民の公共交通を補うコミュニティバスの運行拡大を検討する。</p> <p>■地域公共交通拠点整備 中山間地域に中心拠点エリアを設け、周辺集落からコミュニティバスなどの移手段で結び、幹線バス路線への乗り換え・乗り継ぎが可能となる拠点の整備を検討する。</p>

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
第5次公共交通確保計画策定	-	-	-	-			計画策定	観光
地域コミュニティバス運行地区数	1地区	1地区	1地区	344			3地区	観光
地域ハブ機能の設置	-	0か所	0か所	-			1か所	観光

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析(実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

【観光交流課】	【観光交流課】
<ul style="list-style-type: none"> 路線バス利用者減少に伴う減便及び廃線化の危惧 乗合タクシーの更なる効率的な運行の実現 中山間地域における持続可能な交通網整備の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者減少による路線バスの減便や廃線化への対応 効率的かつ利便性の高い市内交通サービスの検討 コミュニティバスなどの地域の実情に即した交通手段を地域住民と検討

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

シートNo.	31
戦略ページ	P. 47

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域が連携する（まちづくり）
基本方針	3	安心の雪国生活支援
施策項目	1	優良宅地供給の推進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画を推進し、街路や道路交通網の整備による魅力ある居住空間と商業地を創出する。 低廉で優良な宅地供給を行い、定住を促進する。
事業概要	<p>■優良住宅地の推進 定住促進を図るため、優良宅地の開発整備に対する補助を行う。</p>

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
優良宅地供給区画数	-	0区画	5区画	280			15区画	建設

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析 (実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

<p>【建設課】</p> <p>令和3年度に新設した宅地開発支援事業補助金の活用により、優良な宅地共有と定住促進の目的を達しつつある。</p> <p>【令和3年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助金交付決定数 2件 整備済み区画数 5区画 造成中区画数（※R3→R4繰越事業）20区画 	<p>【建設課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度に引き続き、令和4年度も本補助金の活用が見込まれている。 昨年度の実績により、新たな波及効果を生み出せるよう、引き続き本事業の周知を行う。
---	--

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

シートNo.	32
戦略ページ	P. 47

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域が連携する（まちづくり）
基本方針	3	安心の雪国生活支援
施策項目	2	冬期間交通の確保

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	雪国小千谷で安心して暮らせるよう、消雪パイプの布設替（リフレッシュ）を推進し、冬期間交通を確保する。
事業概要	<p>■消雪パイプリフレッシュ事業 老朽化した消雪パイプの布設替えを行う。</p>

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
消雪パイプリフレッシュ実施延長	13.6km	15.2km	16.0km	59,947			17.0km	建設

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析 (実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

<p>【建設課】 実績値から考えるとR6年度の目標値は十分達成できるが、当初の計画にあった鴻巣町裏線の消雪パイプリフレッシュ事業はR5年度までの完了は難しい。</p>	<p>【建設課】 老朽化する消雪パイプに対し、リフレッシュ事業のスピードが追いついていない。R6年度からの5年の事業計画策定においても優先順位をつけてリフレッシュ事業を実施したい。</p>
---	--

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画 (Plan)

シートNo.	33
戦略ページ	P. 47

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域が連携する（まちづくり）
基本方針	3	安心の雪国生活支援
施策項目	3	高齢化に適応した屋根雪処理等の推進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	高齢化に適応した克雪住宅の建築や改修への支援、流雪溝投雪口の改良など、高齢者の除雪作業負担を軽減し、高齢者が安心して暮らし続けられるまちづくりを推進する。
事業概要	<p>■克雪すまいづくり支援事業 融雪型、落雪型など、住宅屋根の整備に対する補助を行う。</p> <p>■流雪溝投雪口整備事業 高齢者でも雪の搬入がしやすい観音開き型の流雪溝投雪口を設置する。</p>

■ 実施 (Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)	担当課
屋根雪処理対応家屋棟数	2,739棟	2,796棟	2,821棟	7,811			3,119棟	建設
高齢者対応型投雪口整備 (累計)	367か所	410か所	420か所	633			500か所	建設

■ 評価 (Check)

(1) 現状分析 (実績値を踏まえた課題・問題点等)

(2) 課題等を踏まえた今後の取組

【建設課】	【建設課】
<p>○屋根雪処理対応家屋棟数 暖冬小雪傾向にある昨今、屋根雪処理に対しての意識が低下してきている。そのため、住宅新築時での屋根雪処理対応家屋が減少してきている。</p> <p>○高齢者対応型投雪口整備 投雪口の整備において、設置基準を満たしていない世帯からも要望が年々増加している。 主な設置基準：65歳以上のみ（＋児童）世帯</p>	<p>○屋根雪処理対応家屋棟数 家屋の雪下ろしからの危険を回避できるため、安全な家屋普及に寄与している。今後も制度の周知を含め、国県費を引き続き要求し、事業を推進していく。</p> <p>○高齢者対応型投雪口整備 令和3年度は10箇所が高齢者対応型投雪口を整備したが、地域からの要望は未だ根強い。H28年度に設置基準の見直しを行い、多様な世帯・地域状況に対して柔軟に対応しており、今後も夢の架け橋基金を活用し事業を推進していく。</p>